

人間科学部

心理行動科学科

人間科学部での学び

人間の心を深く理解するには心そのものに注目するだけでなく、心と密接につながる身体、そして心をもつ人同士のつながりが作り出す社会についても知る必要があります。近年の相次ぐ震災や豪雨災害のみならず、コロナ禍の長期化で心と身体の健康管理における心理学と行動科学の重要性が一層認識されるようになりました。本学部では、心理学の基礎・応用・臨床、そして関連領域であるスポーツ科学や社会学を総合的に学びます。

公認心理師試験の受験資格や教員免許(保健体育)も

本学部には公認心理師試験の受験資格取得に必要な科目が含まれています。※認定心理士、社会調査士のほか、保健体育の教諭一種免許状(中高)の受験資格も取得可能です。

人間科学部をもっと知る



Admission policy

入学者受け入れの方針
アドミッション・ポリシー

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
2. 人間科学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、人間の行動とその心理過程、及びそれらを規定する諸要因を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間の心と身体、社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
3. 高等学校における学習によって、人間科学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを活用する力を有している。(知識・技能)

4. 高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)

以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。

5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)

「教学上の方針」の詳細は
こちらからご確認ください



心理行動科学科

人間の心と身体、社会との関係を科学する

人間の「心と行動」を、幅広い心理学の学びに加え、スポーツ科学、社会学など複数の視点から捉えつつ、確かな証拠にもとづいて科学的に分析する技法と思考力を身につけます。



心理行動科学科を
もっと知る



専門分野

心理学

心の仕組みや働き、健康について実証的に研究する学問。研究で得られた知見は、生活や社会的場面の現象を理解する際に役立ち、心理支援や心身の健康増進に活用されます。

スポーツ科学

運動・スポーツが心と身体の状態、そして社会全体にどのような変化をもたらすのかを学び、社会にある諸問題を解決できる能力を身につけます。

社会学

現代社会で生じるさまざまな問題が、なぜ・どのように生じるのかを解明するのが社会学です。個人の心理や行動と社会の結びつきを、調査とデータを踏まえて分析します。

最新の
学科担当
教員は
こちら



Topics

学科の特色1

人間の行動を3分野から科学する 心理学 + スポーツ科学 + 社会学 = ∞

社会環境の影響を受ける人間の行動や思考に科学的手法で迫る点で3分野は共通しています。しかし、人間の「健康」を例にすると、心理学は個人の心理的健康や集団内での対人関係の健全さ、スポーツ科学では身体的健康や運動パフォーマンス、社会学では社会そのものの健全性や公正性というように、同じテーマでも人間の違う側面に注目します。この研究の多様性がこそ本学科の魅力です。加えて、各分野の現場で活躍するために公認心理師、認定心理士、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)、社会調査士の資格取得をめざすこともできます。



Topics

学科の特色2

ICTの活用で身体情報を“見える化” 運動・スポーツを科学する

身体情報をデータとして収集・分析し、運動や健康活動に役立てるのがスポーツ科学の役割の1つです。スポーツ実技の授業では、心拍数を測定する腕時計式の心拍計を学生全員が身につけ、心拍数データをBluetoothでiPadに転送し、その画面をプロジェクターで表示。学生は走りながら自分の心拍数を確認し、個人で心拍数を自己評価しながら効率的かつ効果的に体力を高める方法を考えます。なお、中学校・高等学校の教諭一種免許状(保健体育)を取得する教職課程も用意し、最先端の知見をもって活躍する教員養成をめざします。



視点を変わると見える世界が変わる

人を知り、心に寄り添うための実践的な学び

1年 渡辺 莉々香 さん
(福島県/安積黎明高等学校出身)

臨床心理学に興味を持って志望しました。私はストレスを溜め込んでしまう傾向があるため、セルフケアを学んでみたいと思い、そして学んだ知識を活かして人の役に立ちたいと考えたことがきっかけです。心理行動科学科では、心理学、スポーツ科学、社会学とさまざまな専門分野の先生方から教わるので、多角的な視点が身につくのもおもしろいです。「社会調査基礎論」では身の回りのものを対象に解決方法を考えるので、日常生活でこれまで見過ごしてきたことにも目を向けられるようになりました。

保健体育の教員免許の取得をめざすスポーツマンの学生もたくさんいます。心と運動の関係について深く知ること、競技スポーツやアスリートのメンタルケアに活かせると思います。私自身は公務員志望で、社会福祉の仕事に就きたいと考えています。一人ひとりに合ったサポートができる人になりたいです。

